

2023年10月5日
株式会社マーナ

マーナの6製品が「2023年度グッドデザイン賞」を受賞 「Shupatto アンブレラ」は「グッドデザイン・ベスト100」に選出

生活雑貨メーカー株式会社マーナ（東京都墨田区、代表取締役 名児耶 美樹 [なごや よしき]）の6製品が、2023年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。また「Shupatto アンブレラ」は、「グッドデザイン・ベスト100」に選出されました。

マーナはこの度の受賞で、18年連続の受賞となります。本年度は、とじるだけで一気にたたまる長傘「Shupatto アンブレラ」をはじめ、歯並びの専門家と開発した「fit ハブラシ」、冷蔵庫のすき間に入る「ウォーターピッチャー」、付属のカッターで溶けやすい薄さに切れる「バターケース」、ワンプッシュで洗剤が出る「キッチンブラシ」、冷凍ご飯をムラなくふっくら温められる容器の大盛サイズ「極 冷凍ごはん容器 大」の6製品が受賞しました。

今後も「Design for Smile 世界中の暮らしに もっと笑顔の瞬間を。」を企業理念に、お客様の暮らしに寄り添ったものづくりに努めてまいります。

GOOD DESIGN AWARD 2023



※各製品の審査委員による評価コメントは2、3ページ目へ

「グッドデザイン賞」は、1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。
「グッドデザイン・ベスト100」は、グッドデザイン賞を受賞した対象の中から、明日を拓くデザイン、未来を示唆するデザインとして100件が選出されます。



■Shupatto アンブレラ

<https://marna.jp/product/s498/>

留めヒモや留め具がなく、とじるだけで一気にたたまる長傘。とじる動きに連動して骨が回転し、軸を中心に生地をくるくると巻き込む独自の機構を開発しました。雨の日に傘をたたむ煩わしさから解放されます。



<審査委員による評価コメント>

日々当たり前に使っている傘を見つめ直し、徹底的に使い勝手にこだわり抜いた姿勢に迫力を感じる。開閉ボタンの様なものはなく、ただグリップを押し上げていくと傘が開き、グリップを引き戻すとスルスルと生地を巻き込みながら畳まれ、完全にシームレスに開閉が行われるのだ。傘の製造業界は一般的な骨構造のものを大量に安く作る事に最適化されており、新しい構造の傘を製造するハードルは高かったはずだ。このような製品を世に送り出したメーカーに賛辞を送りたい。

■fit ハブラシ

カーブ <https://marna.jp/product/b719/>

先細 <https://marna.jp/product/b718/>

日本人の歯並びの悩みから起こる歯の磨きにくさに着目し、矯正歯科の専門医と開発。「カーブ」は、ブラシ上部に傾斜をつけた形状で奥歯の裏側まで届いて歯垢を落とします。「先細」は、歯肉をマッサージしながら歯垢をかき出します。



<審査委員による評価コメント>

アジア人特有の歯並びの問題に着目し、矯正歯科医との共同開発によって非常にユニークなアプローチを示している。磨き残しがないように設計されており、そのために「カーブ毛」と「先細毛」の2タイプのブラシが採用されているが、特に「カーブ毛」と台形ヘッドにより奥までブラッシング可能とした設計は画期的である。加えて、プラスチックを10%削減したエコフレンドリーなハンドルは、サステナビリティに対する深い配慮が見られる。ハンドルの指置きのおぼみは、持ち方の多様性を考慮に入れたユーザーフレンドリーな設計と言える。製品のカラーもコンセプトに合っており全体として美しいデザインになっていると評価できる。

■ウォーターピッチャー 1.0L

<https://marna.jp/product/k787/>

冷蔵庫の棚や扉のポケットなど、すき間に入るコンパクトサイズの冷水筒。本体とフタのみのシンプルな構造、本体は底まで手が届いて洗いやすいかたちです。



<審査委員による評価コメント>

世界的に単身世帯が増加する傾向の中で、生活家電はそれに合わせて小型化が進んでいる。この製品は、生活環境に合わせたユーザー中心のデザインで、水などの各種飲料が1リットル入るコンパクトなサイズである。そのため、どのような空間でもうまく適用できる。特に、狭い空間での活用性が高く、ユーザーが気軽に使用することができる。使用後に洗いやすく、製造および流通プロセスも快適に設計されており、良いデザインである。

■バターケース

<https://marna.jp/product/k776/>

フタ裏に収納できる付属のカッターでバターを使う分だけ、好みの厚さに切り分けができます。フタにはパッキンが付いており、乾燥・におい移りにくく、バターをおいしく保存できます。

<審査委員による評価コメント>

米よりもパンの消費が高まっている日本の食卓において、その出番が確実に増えているだろうバターは、日々の生活の中で意外と手間のかかる食材であることは変わっていない。本製品はバターケースに専用のカッターが付属しており、ケース本体にバターを固定する突起が付いていることで、安定してカッターで必要な分量を切ることができる。また蓋にパッキンが付いていることでバターを包まずに保存することも可能だ。カッター自体を蓋の裏部分に収納することで、ケース自体は極めてシンプルな佇まいを保っている。

■キッチンブラシ

<https://marna.jp/product/k788/>

本体に洗剤を入れてボタンを押すと、空気圧で洗剤が出る構造のブラシです。ワンプッシュで洗剤が出るのでサッと洗えます。

<審査委員による評価コメント>

通常はブラシと洗剤が別々になっており、ユーザーは使用の際にブラシに洗剤をつけ、汚れた部分にこすりつけて洗っていた。洗う際に、洗剤容器のフタを開けてブラシにつける過程が非常に手間だった。ブラシの中に洗剤を入れておき、必要な時にブラシの上部を押すと、一定量の洗剤液が出てきて即座に洗えるようにしている。簡便性をさらに進化させた。

■極 冷凍ごはん容器 大

<https://marna.jp/product/k783/>

大盛（約250g）ご飯の冷凍保存用の容器。電子レンジで温めた際のご飯の美味しさにこだわり開発。「すのこパーツ」の上にご飯を入れるため、温めた際にはスリットから余分な水分が下に落ちて、ご飯のベタつきを防ぎます。

<審査委員による評価コメント>

審査現場では、実際に製品を使ってご飯を冷凍、解凍し、審査委員全員が試食して評価をしている。ふっくらと美味しいご飯だった。21年に本品の小サイズが受賞しているが、既存品愛用者からの声をもとに開発したサイズであること、単純なサイズアップではなく、容量に応じた仕様の最適化に取り組み、細部の改善が施されている点に好感が持てる。「味はイマイチだけど我慢して食べる」という冷凍ご飯にまつわるネガティブな側面を払拭したといえる製品だ。

